

教育旅行体験学習助成金 Q & A

Q 1 申請主体は、学校ですか。それとも旅行会社ですか。

答 学校になります。ただし、同意がある場合は旅行会社が代理申請を行うことも可能です。

Q 2 様式下部にある連絡先はどこの連絡先を記入しますか。

答 学校の連絡先を記入してください。旅行会社で代理申請を行う場合も同様です。

Q 3 既に催行した教育旅行について申請したいのですが。

答 事後の申請は受付できません。出発日の5営業日前までの申請をお願いいたします。

Q 4 交付申請した金額は、すべて対象になりますか。

答 予算に限りがありますため、上限に達し次第、受付を終了いたします。お早目の申請をお願いいたします。

Q 5 教育旅行が延期（中止）になりました。どうしたらいいですか。

答 交付決定後の場合は、書類の提出が必要ですので、速やかにご連絡ください。対応をご案内します。延期等による内容変更の場合は様式第3号「交付条件変更承認書」を、中止の場合は様式第4号「教育旅行中止（廃止）届」をご提出ください。

Q 6 欠席者が発生した場合も変更承認書の提出が必要ですか。

答 欠席者が発生したなどの軽微な変更の場合は不要です。実績報告の際に実際に出席した人数を報告してください。

Q 7 荒天のため、行程を変更しましたが、対象になりますか。

答 要綱第5条の要件を満たす行程であれば対象となります。2か所以上の体験または、体験料の合計額が1,000円に満たなかった場合は交付対象外となりますので、屋外での体験活動を予定している場合は、予め代替案等の想定をお願いします（申請当初の時点での代替案の提出は不要です）。

Q 8 体験活動の計算方法を教えてください。

答 県内の2か所以上で体験活動を行い、その合計額が1,000円以上となる場合に対象になります。フィールドワークなど無料のコンテンツの場合は対象外です。班別体験などで生徒が分かれて複数の体験学習を行い、それを対象とする場合は、すべての体験学習を申請書・実績報告書に記載し、体験学習証明書を提出してください。そして、体験学習の総額を全生徒

教育旅行体験学習助成金 Q & A

数で割り、1,000 円以上になっていれば対象となります。

(例) 生徒 100 人が午前中に 500 円の体験を行い、午後は 2 組に分かれて 600 円と 400 円の体験を各自行った場合、

$(500 \text{ 円} \times 100 \text{ 人}) + (600 \text{ 円} \times 50 \text{ 人}) + (400 \text{ 円} \times 50 \text{ 人}) = \text{総額 } 10 \text{ 万円}$ となり、
 $10 \text{ 万円} \div 100 \text{ 人} = 1,000 \text{ 円} / \text{人}$ となるため対象

Q 9 同一施設内で 2 種の体験学習を行う予定ですが、2 か所としてカウント可能ですか。

答 1 施設内での体験学習は 1 か所と見なしますので、もう 1 か所以上での体験活動を行ってください。判断が難しい場合は、事前にお問い合わせください。

(例) あきた芸術村での観劇と踊り体験：1 か所での体験

Q 10 他の市町村や団体などの助成金と併用することはできますか。

答 補助要件や補助対象が同様の助成金である場合は併用できません。判断が難しい場合や併用を予定している場合は、事前にお問い合わせください。

Q 11 引率教員も対象になりますか。

答 対象外です。児童・生徒のみ対象になります。

Q 12 助成金の振込先の指定はありますか。

答 申請者（学校）に振込します。ただし、申請者の同意がある場合は代理申請をした旅行会社を振込先として指定することも可能です。

Q 13 令和 7 年度以降に秋田県への教育旅行を予定していますが、事前申請できますか。

答 令和 6 年度中に教育旅行を行う学校向けの助成金のため、事前の申請はできません。